



夢に向かって

寄り添い、支える人になりたい——

後藤 ^{かい}海 さん (県北中3年)

第28回

私の将来の夢は、はっきりと決まっていませんが、スポーツトレーナーに興味があります。

私は、プロ野球の東北楽天ゴールデンイーグルスのファンで、よく野球観戦をします。その中で、スポーツトレーナーという職業を知りました。身体の使い方やトレーニング方法、疲労回復など、選手が最高のパフォーマンスを出せるようにサポートする仕事に魅力を感じています。

先月中体連が終わり、部活動はすでに引退しましたが、私は男子卓球部の部長でした。部長として、チームメイトがやりやすい環境にするために、積極的にコミュニケーション

を取るようしていました。特に下級生は、上級生に緊張してしまうので、練習相手になってもらったり、意見を聞いたりして、下級生が緊張しないようにコミュニケーションを取るようしていました。部活動をとおして、力が発揮しやすい環境づくりの重要性を学ぶことができました。

これから受験勉強が本格的に始まるので、この夏休みでは、中学1年、2年の復習をして、苦手教科を基礎から勉強したいと思います。夏休み中は、ついだらけてしまうので、メリハリのある生活を心がけたいです。

将来スポーツトレーナーになったら、選手の能力を伸ばせるトレーナーになりたいです。そのためには、信頼される人にならないといけないと思うので、日ごろから謙虚な心と相手に寄り添うことを忘れずに過ごしていきたいです。



町長コラム

ま 真 こらむ

【第37回】

若い活躍が輝く夏

健全育成町民会議の奨励金交付式。会場の大研修室に向かう。入口に近づくにつれ段々と子どもたちの声が大きくなっていく。「あ、いるいる。ん？ 元気だな、楽しそうだな…」と、こちらもニンマリしてしまう。

会場に入ると、ユニフォーム姿のバレーボールとソフトボールスポ少の子どもたち、制服を着た小学生と高校生たち。そしてお父さん、お母さん。「今日は多いっす」と聞いてはいたけど、「ホントだ。頑張った子たちがこんなにもいるの？ やばあ〜」って感じ。

この奨励金は、引地が教育委員会のときに、スポーツや文化・芸術などの分野で県大会や全国大会に出場する国見の子どもたちを激励したいと思って作った制度。この日は、小学生から高校生までの12人と2つの団体に交付。出席したのは子どもたち30人弱とお母さん、お父さん。資料を見たら、4月から7月までの間に、何と、彼らは35ものスポーツ大会に出場してる。多い子は2つの全国大会を含めて7つの大会に出場。

名前を呼ばれて、奨励金を受け取る時の表情は、皆、照れくさそうな、よそ行きの顔してたけど、でもね、式の後の写真撮影では、友だち同士、笑顔いっぱい、床に寝転んだり、思い思いのポーズを決めたりして、思い切り弾けてた。

これを見てて、何か、とてもうれしくなった。そして、彼らを撮影してるお父さん、お母さんを見てても、うれしくなった。

どうか、好きな部活やスポ少をしながら、いろんな経験をして、いろんな感動を体験してください。大人は皆、応援してるから。



引地 真